

みやばら耳鼻科通信

発行/ 医療法人 南輝 〒702-8034 岡山市南区福浜西町6番17号 ☎086-237-4133

初めての方でも順番予約できます！

LINEでお得なクーポン配信

朝8時から診療しています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00-12:30	●	●	●	/	●	●	/
15:00-18:30	●	●	●	/	●	/	/

いよいよ**花粉症**のシーズンですね。

今年はスギ花粉の飛散が少なめと報道されていますが、アレルギー反応は刺激になるものが大量でなく少量であっても反応します。そしてスギの花粉はスギが適齢期になると大量に飛散しますが、スギは国産の木材の需要が低迷しているため伐採されずに適齢期を迎えているものがどんどん増えているのです。ですので、そもそもスギ花粉の飛散量が10年前とかと比べて増えているので、「例年より少なめ」であっても花粉の飛散量の絶対数自体はたいして少くないのです。

「例年」というのは過去10年の平均値であり、スギ花粉の飛散量が増えているのに増えている中での「花粉が多い」「花粉が少ない」といっても10年以上前に比べると飛散量自体が増えているので実際は「体感的に花粉が少ない」というのはまた別ものということになります。

しかしここでスギ花粉症に対して画期的な治療が開発されました！

それが「舌下免疫治療」です。これは舌の下（口腔底（こうくうてい）といいます）にスギ花粉のエキスの錠剤を毎日一回置く治療で、痛みはありません。

最低2年は毎日錠剤を舌の下に置き、毎月1回通院が必要ではありますが、**成功率は90%くらいと非常に高い**です。ここでの「成功」とは抗アレルギー剤を全く使わなくて済んだり使う頻度が明らかに減った場合をいいます。

そしてここがポイントなのですが、一昨年までは「液体のボトル」しかなかったので冷蔵庫に保管したり出張や旅行の時に使いにくかったのです。それが昨年「錠剤」タイプが発売され一気に使いやすくなりました！

そしてそれを機に花粉症である私も昨年6月からトライすることにしました。するとどうなったか。例年なら1月から微妙で抗アレルギー剤をちょこちょこ服用し2月からは予防内服に突入していたのですが、今年に入って抗アレルギー剤を使ったのはたったの1回！春近いのに朝起きて鼻がぐずぐず鼻水たら〜がないのはホント快適です。医学の進歩を日々体感しております♪ところでそんな舌下免疫治療ですが、もう少し詳しくお話ししていきます。まず「免疫」とは「体がスギ花粉を異物と認識して体から追いだそうとする働き」です。その結果、鼻の中のスギ花粉を鼻の外に出すために鼻水で洗い流そうとしたり、くしゃみで鼻の外に飛ばすのです。舌下免疫療法では、その「免疫」反応を起こさなくするように、スギ花粉を体の一部と認識させるようにします。それにはスギ花粉が体の中にある物質と体に錯覚（さっかく）させるためにごくわずかなスギ花粉のエキスを体にいれることから始め、だんだん濃いエキスを体に入れていきます。

これを「**減感作療法**」といいますが、今までは皮膚の下への注射（皮下注射）での治療はありましたが、しょっちゅう通院しなければいけなかったり治療が注射なので痛いなどといった問題がありました。舌下免疫療法では、舌の下にスギ花粉のエキスを置く治療なので、痛みはなく、通院回数も月1回と、注射の治療に比べて大幅に治療を続けやすくなっています。ただし、皮下注射と同じように通院期間は数年、最低でも2年間は必要となります。現時点では2年よりは3年、3年よりは4年、4年よりは5年継続する方がより効果が出るというデータが出ています（まだ開始して日が浅い治療なので何年経ったら効果が持続するのかについてはまだ結論が出ていません）。また、治療にはスギ花粉症であることを確認する必要があります。1回目の診察の時にアレルギー検査を行い、スギ花粉症が陰性の方は治療を受けられません。この治療法ではスギ花粉のエキスを舌下に毎日だんだん濃い濃度にして増やしていきます。さらにこの毎日スギ花粉エキスを舌の下に置くことを最低2年間続け、この2年間は毎月1回必ず通院が必要です。根気がない方には向いていない治療法です。また、治療を中断したら、場合によっては初めの濃度から治療を再開する必要になることがあります。なお、この治療の副作用にアナフィラキシーというものがありますが、最悪の場合命が危険にさらされる場合があります。そのため1回目のスギ花粉のエキスを置くのはクリニックでお医者さんが行い、置いた後30分はクリニックの中で過ごしていただき、副作用が起こらないか確認する必要があります。また、現在高血圧で薬を飲まれている方、妊婦の方はこの治療を受けることができません。また、口の中にスギ花粉のエキスを置くので、口の中を傷つけたり、歯医者さんで治療をしたり、口内炎ができた場合は治療を中断する必要があります。

さらに、錠剤を1分間口の中に保持できることが必要なため全身状態なども考慮し当院では5歳から65歳までの方に治療を行っております。

この治療は1回目はスギ花粉症か確認をするためにその検査費用や初診料や処方せん料や調剤薬局での薬代を含め5,100円ほどかかります。ただし他院でのアレルギー検査でスギが陽性である結果をお持ちの方はその結果を持参していただいたら検査は必要ないので検査費用の3090円はかかりません。

2回目以降は再診料や処方せん料や調剤薬局での薬代を含め2,100円ほどかかります。2回目以降は毎月1回通院が必要です（いずれも3割負担の方）。なお1回目及び2回目以降の費用はいずれも、あくまでも目安で、処置を行ったり、通院の間隔によって、異なる場合があります。また今年4月の診療報酬の改訂でさらに金額が変わってくる場合もあります。

この治療の難点は**毎日舌の下に錠剤を置かなければいけない、毎月通院しないといけない、2年間は通院しないといけない、開始するタイミングはスギ花粉が飛んでない時期でないといけない**ということころがあります。

開始するタイミングについては当院では6月から11月までの設定にしているのですが、「毎月通院」ということについてはお困りのことがなければ極力待ち時間をなくすオペレーションを導入しておりますので、通院自体は他のクリニックに通うよりも格段にストレスは低いと自負しております。

今花粉症でお悩みの方、花粉症とおさらばしてみませんか？いいですよ～♪